

耐震性貯水槽・防火水槽 40m³

施 工 要 領 書

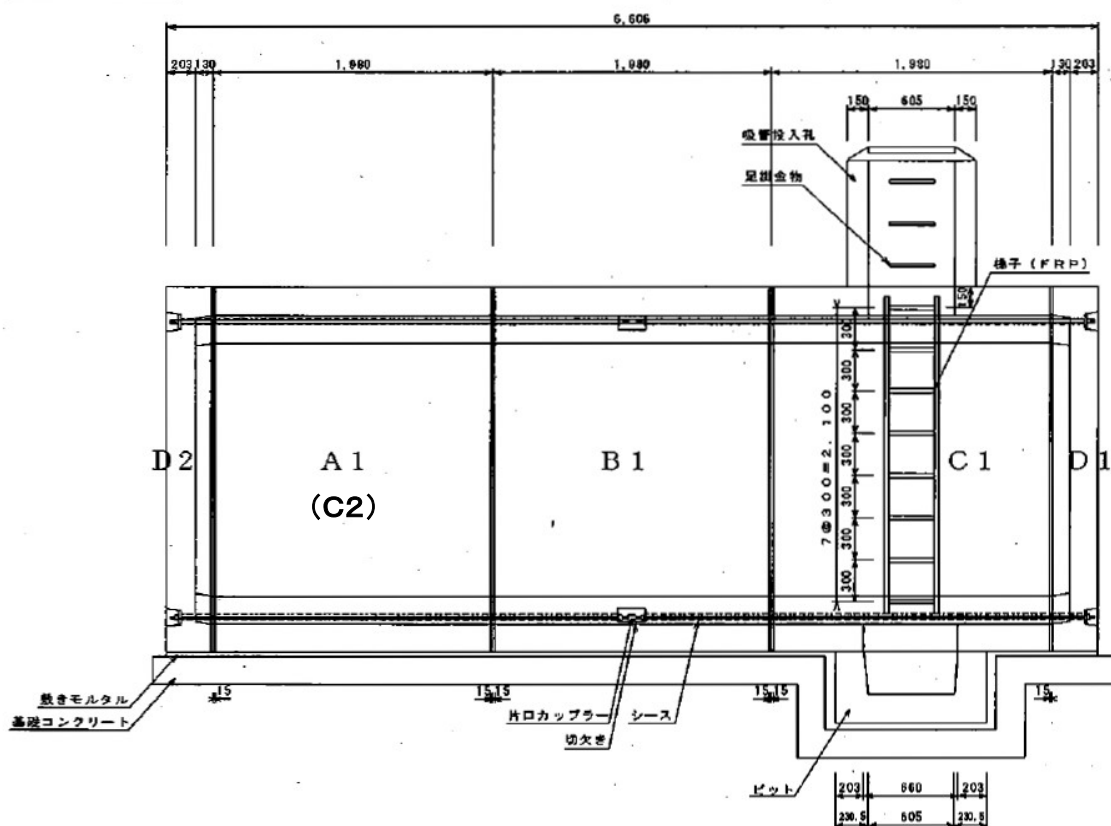
株式会社 総合開発



1. 据付工

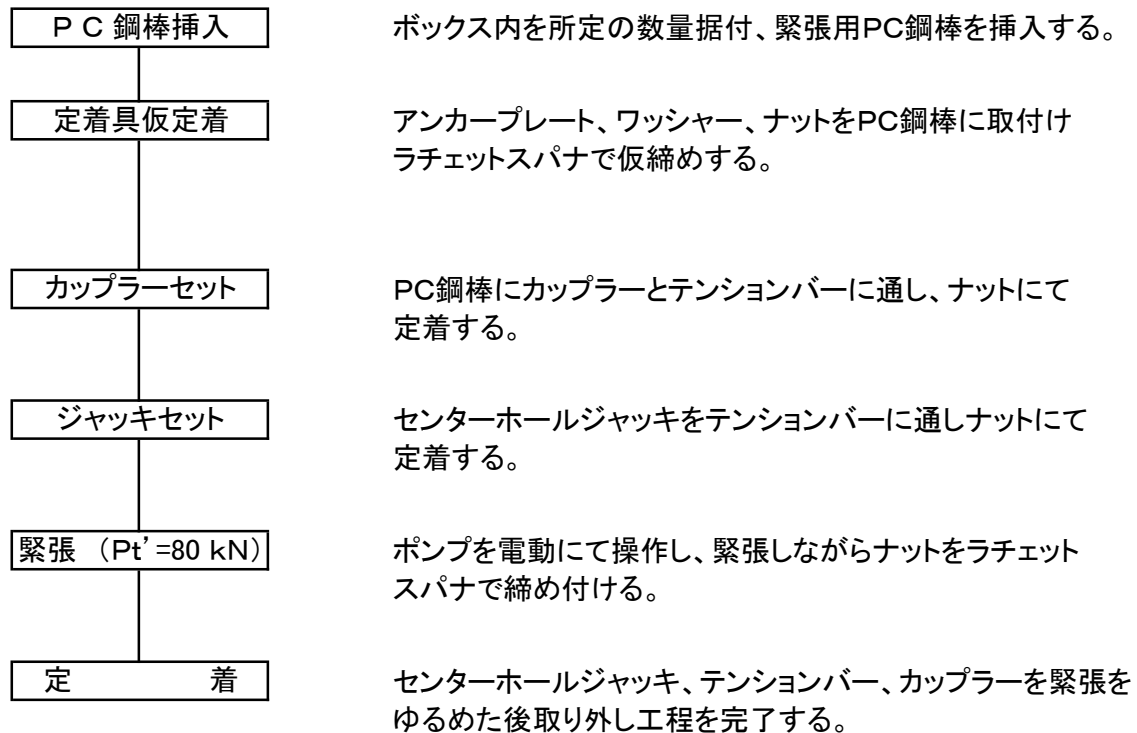
- 1) 基礎コンクリート面へ水槽外形寸法を墨出する。
- 2) 敷きモルタルを敷き均す。敷きモルタルは空練りとし、その配合はセメントと砂の割合を1 : 3 程度、厚さは3cmを標準とする。
- 3) 底設ピットを所定の位置へセットする。
- 4) 本体C 1型をセットする。
- 5) 底設ピットを吊り上げボルトにて本体C 1型に取り付ける。
- 6) 本体B 1型をセットする。
- 7) 本体A 1(C2)型をセットする。(底設ピットを吊り上げボルトにて本体C2型に取り付ける。)
- 8) 背面版D1型・背面版D 2型をセットする。(転倒防止仮止め)
- 9) 背面版D 2型、本体A 1(C2)型、本体B1型、本体C 1型、背面版D 1型をP C緊張する。
- 10) 吸管投入孔をセットする。
- 11) 鉄蓋(マンホール蓋)をセットする。

側 面 図



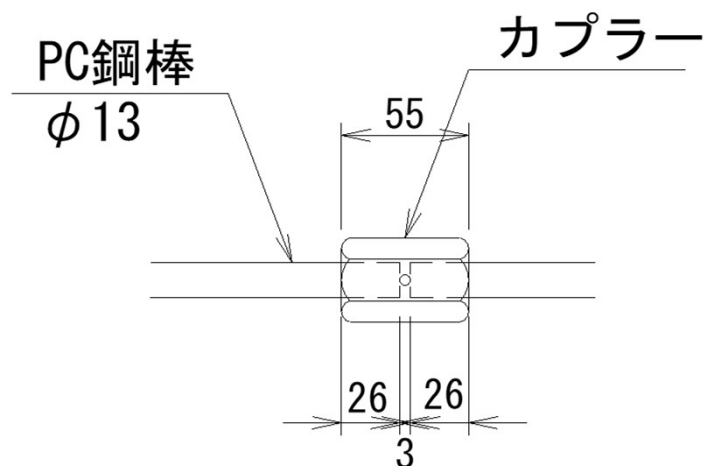
2. 縦締PC 緊張手順

施工フロー



*注意点

- ・カップラーを取り付ける時PC鋼棒及びプルロッドはカップラーの1/2ずつ完全にねじ込むこと。



縦締めPC鋼棒及びその緊張力は下記の表によるものとする。

PC鋼棒 (mm)	材 質	緊張力 (kN)
φ 13 B種	S B P R 930 / 1080	8 0

(1) 使用機器

1. 油圧ポンプ MPVC-05N
圧力計 1570359
2. ジャッキ HRS26-100型
3. 性能表 別紙性能検査表による。

(2) 許容誤差

プラス側 (+) 1.0Mpa

油圧式電動ポンプ・油圧式センターホールジャッキ操作手順



1. 操作開始前に点検を行う。
2. ジャッキとポンプをホースの接手金具で継ぐ。
3. ジャッキセット完了後バルブをいっぱいに開ける。(作業終了までそのままにする。)
4. ボタン操作、油をジャッキに送る。
5. 目地管理にて据付を行うので、荷重に注意しつつ油を送る。もしくは規定の荷重(メーターで確認)で操作をやめ、締め付け作業を行う。
6. 締め付け完了後、油圧を抜きジャッキのストロークが戻ったら操作をやめる。
7. 作業完了後バルブを閉める。接手金具を取り外しホース、ジャッキ、ポンプと単品にし片付ける。

3. グラウト工

グラウト材料

セメント	普通ポルトランドセメント
水	P C鋼材に有害な油、酸、塩類、有害物等を含まないものとする。
混和材	マスターフロー150
水セメント比	45%

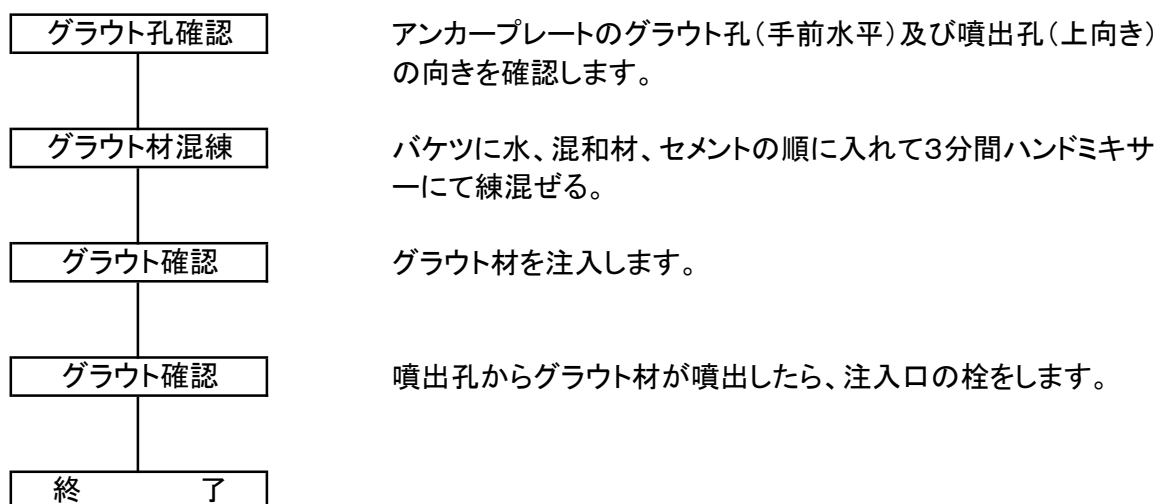
グラウトの配合

項 目	セメント	水	混和材マスターフロー150
1 m ³ 当り	1305 Kg	587 Kg	13 Kg
1 バッチ当り	25 Kg	11. 25 Kg	0. 25Kg

グラウト作業

- 1) グラウトは十分にP C鋼材をつつみ、これを錆びない様に保護し付着が十分に得られる品質の物ではなくてはならない。
- 2) グラウト注入は、手動式グラウトポンプを用いて徐々に行わなければならない。

作業フロー

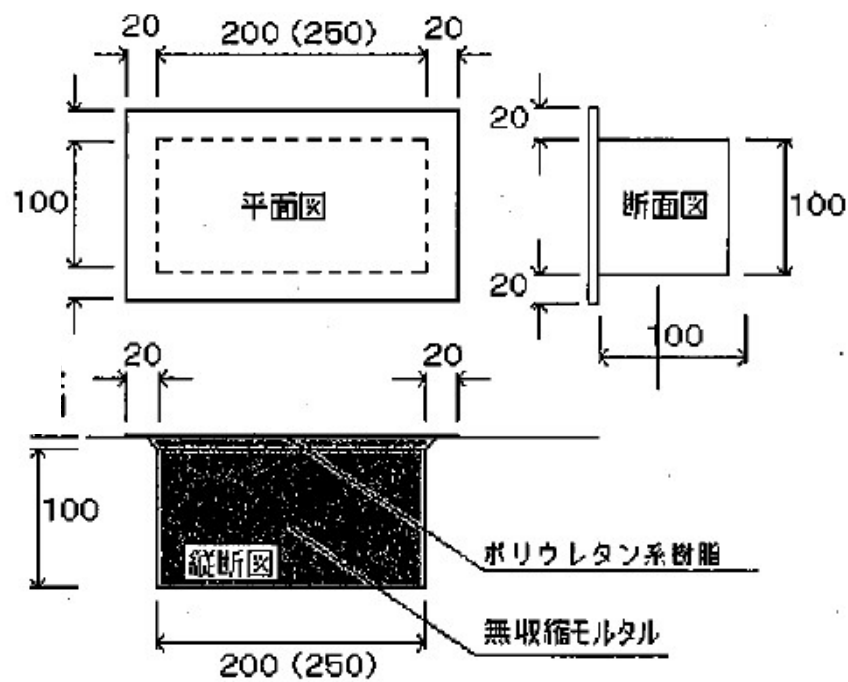


4. 箱埋工

連結金具モルタル充填は、グラウトの注入完了後速やかに無収縮モルタルで行う。

手順

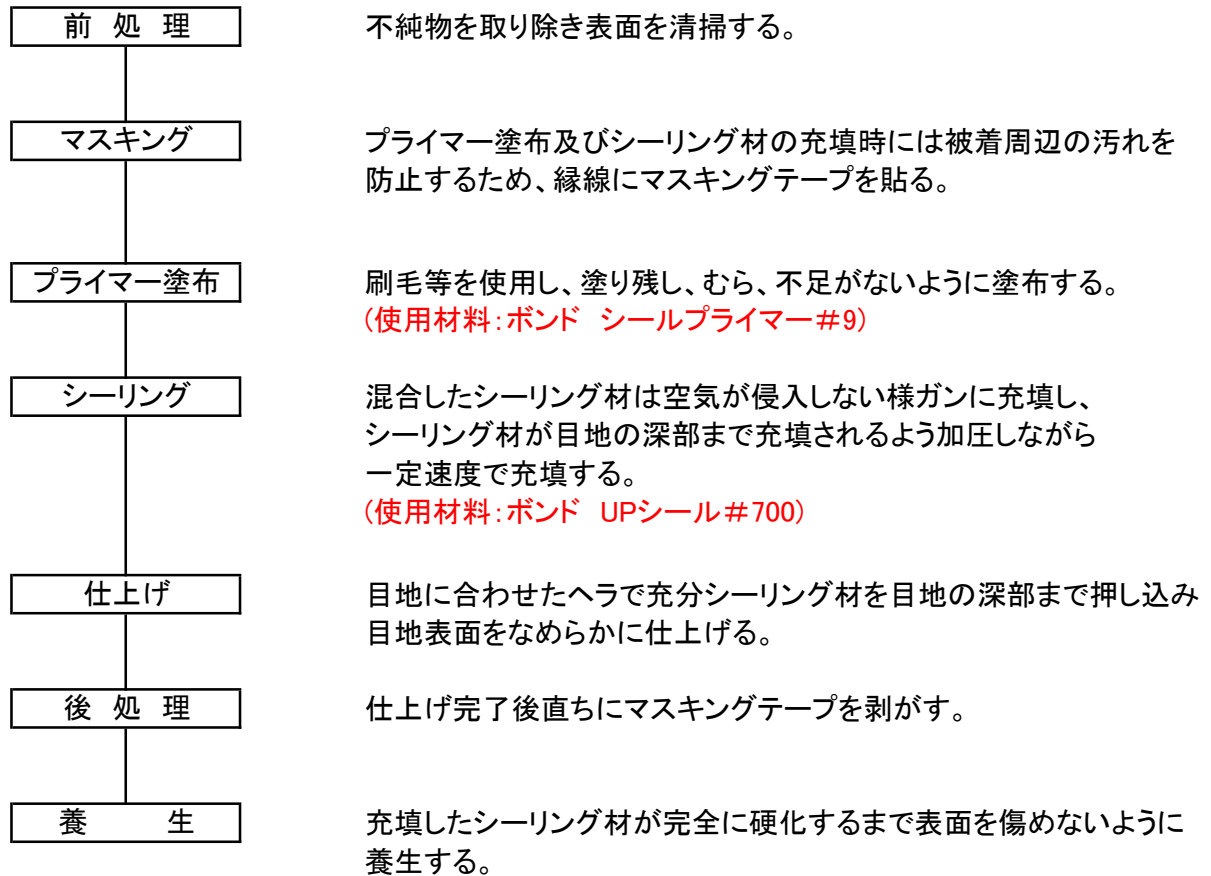
前 処 理	連結部の清掃を行う。
モルタル充填	無収縮モルタルを切欠部に充填する。 (使用材料:フィルコンパッド)
シーリング	無収縮モルタル充填後シーリング材でシーリングを行う。 (使用材料:ボンド シールプライマー#9) (使用材料:ボンド UPシール#700)



5. 目地工手順

ボックスの内部接合部はポリウレタン系シーリング材にてシーリングする。

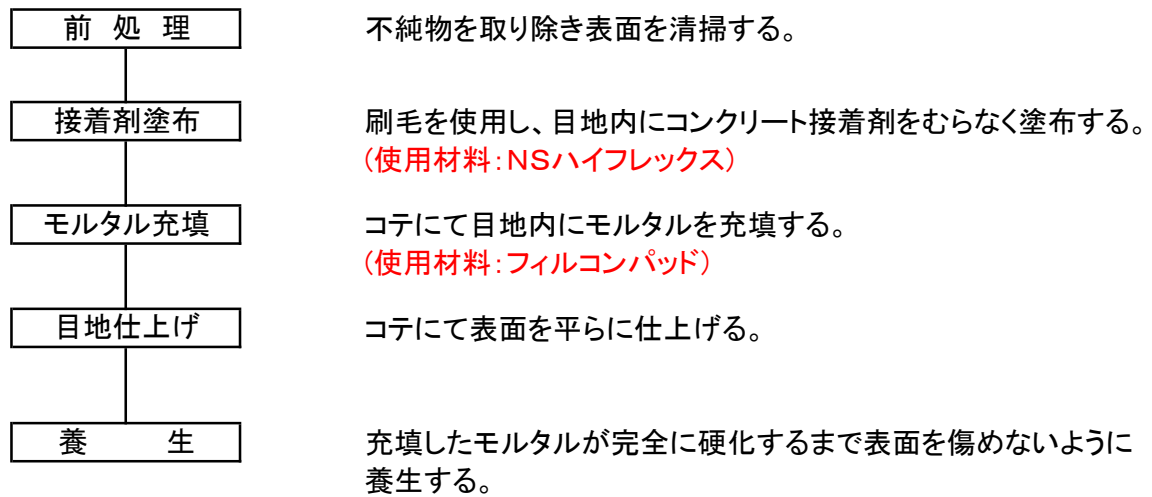
手順



6. 目地工（モルタル目地）

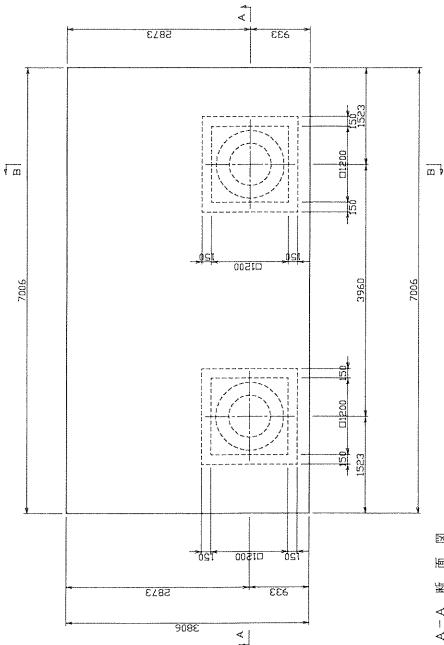
ボックスの外部接合部は、モルタルにて充填し仕上げる。

手順

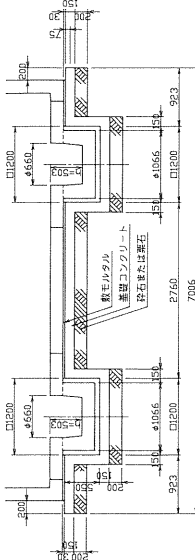
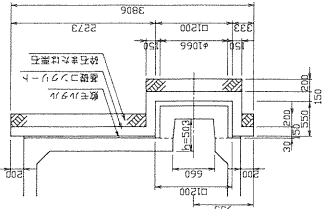


防火水槽 基礎コンクリート構造図 S=1/40

圖 5 里 水



3-B-3 50 50 50



性能検査表(縦締)

2023-1

性能確認機器名	センターホールジャッキ	性能確認機器番号	HRS26-100型.962372.962374
性能確認機器名	圧力計 (Y)	性能確認機器番号	100MPa.1570359
原器機器名	アムスラー油圧式 (X)	性能確認機器番号	No.795414
性能確認日	2023年4月26日	性能確認場所	(株)総合開発 本社工場
		受圧面積	37.7cm ²

相関関係

番号	X(KN)	Y(MPa)	X ²	Y ²	XY
1	39	10	1521	100	390
2	74	20	5476	400	1480
3	151	40	22801	1600	6040
4	226	60	51076	3600	13560
Σ	490	130	80874	5700	21470

相 関

$$[X] = (\Sigma X)^2 \div N = 60025.0$$

$$[Y] = (\Sigma Y)^2 \div N = 4225.0$$

$$[XY] = (\Sigma X \times \Sigma Y) \div N = 15925$$

$$S(X^2) = \Sigma X^2 - [X] = 20849.0$$

$$S(Y^2) = \Sigma Y^2 - [Y] = 1475.0$$

$$S(XY) = \Sigma XY - [XY] = 5545.0$$

$$\gamma = S(XY) \div \{\sqrt{S(X^2) \times S(Y^2)}\}$$

$$= 0.99991$$

$$a = (\Sigma X^2 \times \Sigma Y - \Sigma X \times \Sigma XY) \div (N \times \Sigma X^2 - (\Sigma X)^2)$$

$$= -0.080$$

$$b = (N \times \Sigma XY - \Sigma X \times \Sigma Y) \div (N \times \Sigma X^2 - (\Sigma X)^2)$$

$$= 0.266$$

$$\text{従って } Y = bX + a = 0.266 X - 0.080$$

a:切片 b:傾き

許容緊張力

X(KN)	Y(MPa)	(tonf)
50	13.2	(5.0)
80	21.2	(8.0)
100	26.5	(10.0)
150	39.8	(15.0)
170	45.1	(17.0)

